

3月定例
議会が始
まります

小・中一貫教育校・2学期制について、使いやすいゆとりぎへ、 西口区画整理事業の一時中止、保育園の増設などとりあげます

鈴木たくや議員 2月27日午後2時頃から

小・中一貫教育校、2学期制について問う

- * 小中一貫教育校検討委員会・第2次報告について
- * 2学期制について

市内企業の雇用・市民の雇用と、地域経済を守るために

- * 市内企業の雇用状況の把握を行うと市は発表したがその結果は
- * 市の緊急雇用対策事業の結果はどうだったのか。来年度にむけての課題は。

使いやすい「ゆとりぎ」にするために問う

- * 「部屋の場所がわかりにくく困る」との声がある。わかりやすい案内板・誘導サインなどの設置をすべきでは。
- * 「足が不自由な人などのために、正面に車止めスペースが必要ではないか」との声がある。設置の検討を。
- * 「中央の円形野外ステージがあまり利用されていない。どう認識しており、どのように利用促進をはかる考えか。
- * 「使用料が高い」との声がある。利用料の引き下げを。

3月定例議会日程

- 2月26日(木) 本会議
- 27日(金) 本会議
- 3月 2日(月) 本会議
- 3日(火) 本会議
- 5日(木) 厚生委員会
午後1時半 経済委員会
- 6日(金) 総務委員会
- 9日(月)～11日(水) 予算委員会
- 18日(水) 本会議
(経済委員会以外は午前10時開会)

市川えい子議員 3月2日午前10時から

羽村駅西口区画整理事業は一時中止せよ

- * 今後「見直し検討」を行うということだが、事業計画の変更なのか、減歩率が変わるのか、都市計画道路が変わるのか、事業年度や総額は変わるのか。
- * 市は地権者からの意見、要望については個別に回答したが、全員の地権者が市の回答で納得したのか。

障がい者福祉について

- * 障がい者を有する児童の放課後対策について。
- * 羽村市障害者相談支援事業について相談者への対応は
- * 地域自立支援協議会の立ち上げを。



2月4日、日本共産党羽村市議団と、徳留道信都副委員長は、羽村市農業委員会の宮川会長と中野委員と都市農業について意見を伺いました。羽村では若い農業後継者が生まれていることや、直売所の意義が話されました。

中原まさゆき議員 3月2日午前11時頃から

保育園の増設と親子の遊び場の確保を

- * 来年度保育園に入所を希望しながら、入所できない子どもは何人くらいになる見通しか
- * 市の計画では今後東保育園の増築で0歳児の保育を実施とあるが他の年齢も含めて定員拡大を早期に実施すべきではないか
- * 家庭保育をしている保護者と子どもが気軽に遊びにいける場を既存施設の活用を含め積極的に確保すべき。

特定健康診査について

- * 特定健康診査・保健指導についての市の評価は。問題点については、国・都に意見をあげているか。
- * 今年度の特定健診事業及び、ヘルスアップ健診の実績と来年度の目標はどうか。



2月17日、市川えい子議員と清流町市民の堀口氏はあきる野市役所の土木課を訪れ、羽村大橋から清流町へ通じる道路の拡幅を出来るだけ早く実現するよう要請しました。

「通学路にもなっているため危険」との訴えに看板の設置を検討するということでした。

羽村民報

2009年2月22日 928
発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷

日本共産党羽村市議団のホームページ
<http://www.jcphamura.org>
事務所 電話 579-2132 FAX 579-2106